

2022. 11. 17

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

**立命館大学と南オーストラリア大学による研究教育交流協定締結記念カンファレンス
「モビリティとデジタル革命」開催****日 時 : 2022年12月11日(日) 13:00~17:10****会 場 : 立命館大学衣笠キャンパス 啓明館(KM) 201**

立命館大学人文科学研究所は、南オーストラリア大学との研究教育交流協定締結を記念したカンファレンス「モビリティとデジタル革命」を12月11日(日)に開催いたします。

当研究所は、ツーリズム・モビリティとデジタル革命の結びつきを考察し、社会や私たちの生がいかに変容しつつあるのかを研究してきました。一方、南オーストラリア大学のEUジャンモネ研究センターも、AIの社会学、デジタル革命の社会学、モビリティーズ研究を展開してきました。

このたび、両大学が双方の知を結集させ、ツーリズム・モビリティとデジタル革命に関する新たな社会理論の構築を目指し、立命館大学の「国際共同研究促進プログラム」のもと研究教育交流協定を締結するに至りました。本協定締結を記念し、南オーストラリア大学のルイス・エヴァラス氏を招聘し開催するカンファレンスでは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)以後、人、モノ、資本、情報、データ、イメージ、観念、技術等のモビリティや社会のあり方が「デジタル革命」のもとで、大きく変わりつつあることを論じていきます。

「デジタル革命」は単に、メディアの仕組みがデジタルテクノロジーを用いた仕組みに移行するというだけにとどまりません。それは、AIを含めたデジタルテクノロジーを軸に社会システムが大きく変容し、私たちの暮らしや、自己のあり方までも変え、再帰的にテクノロジー自体も複雑性のもとでさらに新たなものへと変わることを意味します。私たちの生、そして私たちの社会は、どこへ向かっているのか、参加者のみなさまと考える機会とします。

記

日 時 : 2022年12月11日(日) 13:00~17:10(12:40開場)**会 場 : 立命館大学衣笠キャンパス 啓明館 KM201****言 語 : 日本語/英語(同時通訳有)****参 加 費 : 無料****申 込 方 法 : <https://forms.gle/NSRiFcLXoam257Ga7> よりお申し込みください。****【締め切り:2022年12月9日(金)17:00】****主 催 : 立命館大学人文科学研究所**

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先 : 京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠リサーチオフィス 担当:野村

TEL.075-465-8225 <http://www.ritsumei.ac.jp/research/ihhss/>

【プログラム】※敬称略

総合司会：前田一馬（立命館大学文学部）

13:00 開会あいさつ

藤巻正己（立命館大学文学部）

13:05 協定締結の祝辞

アンソニー・エリオット（南オーストラリア大学 EU ジャンモネ研究センター所長）

遠藤英樹（立命館大学文学部、立命館大学人文科学研究センター所長）

13:20 基調講演(1)「The digitisation of sovereign borders, exclusion and mobilities (主権の境界、排除、モビリティーズのデジタル化)」

ルイス・エヴァラス（南オーストラリア大学 EU ジャンモネ研究センター）

14:20 休憩

14:30 基調講演(2)「The digitisation of affection, air and tourism mobilities (情動、空気、ツーリズム・モビリティーズのデジタル化)」

遠藤英樹

15:30 シンポジウム

ルイス・エヴァラス

遠藤英樹

神田孝治（立命館大学文学部）

山本理佳（立命館大学文学部）

小野真由美（ノートルダム清心女子大学文学部）

17:00 閉会あいさつ

遠藤英樹

※アンソニー・エリオット(Anthony Elliott)氏プロフィール

南オーストラリア大学の社会学教授。同大学で EU ジャンモネ研究センター所長もつとめる。エリオット氏は社会理論や現代社会学にとって非常に重要な業績を世に送り出してきた。著書・編著には、ジョン・アーリ氏との共著『Mobile Lives』（ミネルヴァ書房より『モバイル・ライブズ』として 2016 年に翻訳が出版）、『The Culture of AI』（明石書店より 2022 年に翻訳が出版）のほか、『Making Sense of AI: Our Algorithmic World』（2021, Polity）、『The Routledge Social Science Handbook of AI』（2021, Routledge）等がある。また新著『Algorithmic Intimacy』が Polity より 2022 年度に刊行されている。

※ルイス・エヴァラス(Louis Everuss)氏プロフィール

南オーストラリア大学の EU ジャンモネ研究センターに所属。エヴァラス氏は、モビリティーズ、主権、グローバリゼーション、気候変動等について社会学的な考察を展開してきた。近著に、『Digital Mobilities and Smart Borders: How Digital Technologies Transform Migration and Sovereign Borders』（2023, De Gruyter）がある。